

全国英語教育学会 (JASELE)

令和 8 (2026) 年度第 1 回理事会

■日時：令和 8 (2026) 年 3 月 28 日 (土) 13:00~16:30

■会場：なし (Zoom によるオンライン理事会)

■議事進行

- ・議事に先立ち、齊田会長の挨拶が行われた。
- ・参加者による自己紹介が行われた。
- ・廣森理事 (会長・関甲信) より、全国英語教育学会第 50 回埼玉研究大会に関する報告があった。

■参加者[敬称略]：齊田智里 (会長)、泉恵美子 (副会長・会長代行)、酒井英樹 (副会長・中部)、中村典生 (副会長・理事・九州)、照山秀一 (理事・北海道)、志村昭暢 (理事・北海道)、丹藤永也 (理事・東北)、鈴木渉 (理事・東北)、廣森友人 (理事・関甲信)、白倉美里 (理事・関甲信)、田中武夫 (理事・中部)、滝沢雄一 (理事・中部)、横川博一 (理事・関西)、今井裕之 (理事・関西)、小山尚史 (理事・中国)、池野修 (理事・四国)、水野康一 (理事・四国)

<以下、オブザーバー[敬称略]>

小野祥康 (幹事・北海道)、佐藤剛 (幹事・東北)、伊藤泰子 (幹事・関甲信)、和田順一 (幹事・中部)、青山聡 (幹事・中国)、立松大祐 (幹事・四国)、大下晴美 (幹事・九州)、赤松信彦 (関西・学会誌編集委員長)、鬼田崇作 (四国・学会誌編集事務局長)、高橋俊章 (中国・岡山研究大会実行委員長)、竹野純一郎 (中国・岡山研究大会事務局長)、西村秀之 (事務局長)、大野真澄 (事務局長補佐)、佐藤選 (財務部部長)、浦野研 (研究/大会企画部長)、小木曾智子 (中部・学生支援部長)

■議題：

1) 令和 8 年度新役員 (案)

齊田会長より、顧問、学会功労者名簿の変更点について確認があった。

西村事務局長より、資料 1 にもとづき、新役員名簿が確認され、承認された。なお、新役員名簿に関して、修正点や 4 月以降に所属変更がある場合は、西村事務局長へ連絡することが確認された。

2) 令和7年度決算(案)

佐藤財務部長より、資料2にもとづき、暫定的な決算案が示された。審議の末、一部修正のうえ、会計監査を受けることが承認された。

3) 令和8年度予算(案)

佐藤財務部長より、資料3にもとづき、予算案が示された。審議の末、確定版とすることが承認された。

斉田会長より、今後の検討事項について確認がされた。

4) 第51回岡山研究大会実施要綱(案)

高橋大会実行委員長、竹野大会事務局長より、資料4にもとづき、大会の詳細が説明された。審議の末、参加要項の表記を一部修正のうえ承認された。あわせて、台風等の自然災害により大会が中止となった場合のキャンセルポリシーについて説明があり、その内容が了承された。さらに、岡山市からの補助金申請に必要なため、参加者の氏名および住所(県名のみ)を岡山市に提供することについて説明があり、了承された。課題研究・授業研究フォーラムおよび大学生・大学院生フォーラム等に登壇される先生方のうち、4月以降にご所属が変更となる場合には、大会事務局へ連絡していただくよう依頼があった。

大会案内、ポスター、要綱の郵送はせず、各地区の事務局から会員にメールでリンク先を送付することが確認された。

5) 大学生・大学院生フォーラム及び学生会員の研究参加助成制度について(案)

小木曾学生支援部長より、資料5にもとづき、名称、内容が承認された。

「2. 本制度の概要」の改訂案を学生支援部が検討し、事務局に一任することが確認された。また、資料5に基づき、SNSアカウントの運用について承認された。

6) 第52回大阪研究大会実施要綱(経過報告)

横川大会実行委員長より、資料6にもとづき、大会の詳細が説明され、審議の末、一部修正のうえ承認された。今後の検討事項について確認された。

7) 次期会長選挙について

西村事務局長より、資料7にもとづき、詳細が説明され、審議の末、承認された。

8) 学会誌即時オープンアクセスについて

鬼田学会誌編集事務局長より、資料8にもとづき、JASELE Journalの即時オープンアクセスについて説明があり、審議の末、承認された。今後の流れ、予定について確認

がされた。

- 9) 全国英語教育学会学会誌 JASELE Journal 第 37 号の編集について
鬼田学会誌編集事務局長より、資料 9 にもとづき、活動報告および査読結果の報告があり、審議の末、一部修正のうえ承認された。
- 10) 全国英語教育学会・学会賞（案）
鬼田学会誌編集事務局長より、資料 10 にもとづき、学会賞（学術奨励賞，教育奨励賞）受賞者の案が示され、審議の末、原案のとおり承認された。
- 11) これからの英語教育の在り方に関する提言—次期学習指導要領改訂及び今後 10 年を見据えて—（案）
斉田会長より、資料 11 にもとづき、次期学習指導要領の改訂およびその解説に向けた教育的提言を本学会として行っていく旨の提案がなされ、審議の結果、承認された。
- 12) 事務局内各部における活動について（経過報告）
 - ・佐藤財務部副部長より、資料 12 にもとづき、活動報告がなされた。
 - ・浦野研究／大会企画部部長より、資料 13 にもとづき、活動報告がなされた。2026 年度の英語教育セミナーの開催予定について、東北英語教育学会と関東甲信越英語教育学会から申請があり採択されたとの報告がなされた。
 - ・西村事務局長より、資料 14 にもとづき、広報/通信部に関する活動報告が代理でなされた。
 - ・小木曾学生支援部長より、資料 5 にもとづき、活動報告および埼玉研究大会の大学生・大学院生フォーラムに関するアンケート結果が報告された。また、岡山研究大会における大学生・大学院生フォーラムの内容について説明がなされた。

●報告事項：

- 1) 英語教育セミナーの申請について
浦野研究／大会企画部部長より、資料 15 にもとづき、2026 年度に東北英語教育学会と関東甲信越英語教育学会から英語教育セミナーの申請があり採択されたとの報告がなされた。
- 2) 英語教育セミナーの実施報告について
西村事務局長より、2025 年度は関東甲信越英語教育学会が英語教育セミナーを開催したが、その実施報告は第 2 回理事会で行う旨の報告がなされた。

3) 言語系学会連合との共催事業報告について

白倉理事より、資料 16 にもとづき、言語系学会連合共催事業「特別講演」の実施報告がなされた。

4) 言語系学会連合との共催事業について

白倉理事より、資料 17 にもとづき、関東甲信越英語教育学会が 2026 年度言語系学会連合共催事業を申請し、採択された旨、および特別講演の実施予定について報告がなされた。

5) 教育関連学会連絡協議会総会について

齊田会長より、資料 18 にもとづき、教育関連学会連絡協議会総会の概要が報告された。

6) 言語系学会連合 第 15 回 意見交換会について

齊田会長より、資料 19 にもとづき、言語系学会連合意見交換会の概要が報告された。

7) 教科教育学コンソーシアム 第 2 回理事会について

齊田会長より、資料 20 にもとづき、教科教育学コンソーシアムの理事会の概要が報告された。教科教育学コンソーシアムジャーナルの編集委員に、酒井英樹副会長を選出することが決まった。